



まきやすさバツグン!
しかも経済性に優れた

くみあい

砂状

ケイカル

うまい米づくりに米の消費をのびしましょう!



土づくりには全農が推奨する
くみあいけい酸苦土石灰水砕1号

保証成分

可溶性珪酸
32.0%

アルカリ分
48.0%

可溶性苦土
4.0%

包装 20kg樹脂袋

供給 JAグループ

製造 ミネックス(株)

けいカル肥料は肥効が高く、まきやすい 経済性に優れた「土づくり」資材です。

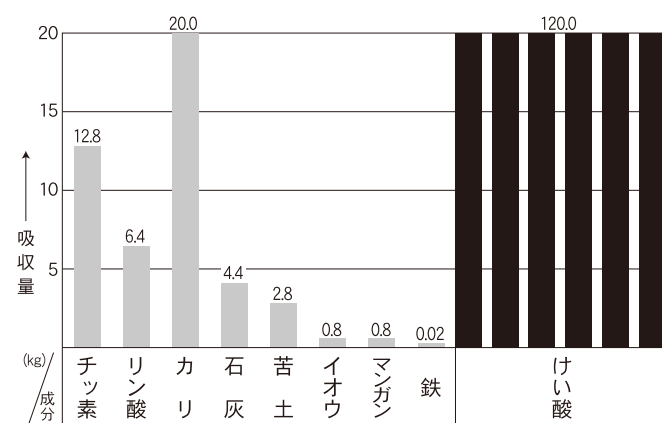
けいカル(けい酸)のイネに対する働き

けい酸は、イネの葉や茎の表面にけい化細胞を形成し、稲体を丈夫にするので次のような効果が期待できます。

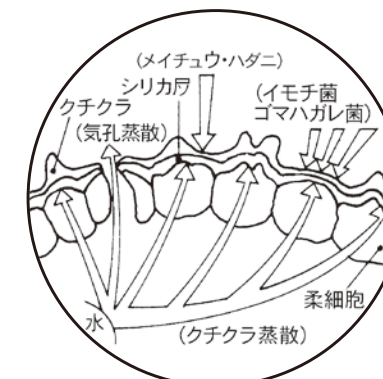
- 病虫害の軽減** 集積されたけい酸は、葉や茎などの表面にけい化細胞を形成し、いもち病菌などの葉中侵入を防ぐ効果があり、その結果病虫害やいもち病にかかりにくくなります。
- 倒伏軽減・登熟歩合向上** けい酸を吸収したイネは、丈夫に育ち葉が直立するため、受光体勢が良くなると共に倒伏も少なくなり登熟向上に役立ちます。
- 水分蒸散抑制** 葉や茎などの表面に形成されるけい化細胞は、稲体の水分蒸散を抑制する効果があります。
- 冷害・秋落軽減** 根、葉、茎を丈夫にしますので、冷害に強くなり、秋落ちしにくくなります。
- 酸性土壌の矯正** 酸性土壌を改良します。

水稲はチッソの10倍のけい酸を吸収します

★10アール当りの玄米収量を600kgとした場合の成分吸収量。



クチクラ・シリカ二重層



★水稲の生育に対する珪酸の意義を示す模式図

◆玄米600kg生産に要する けい酸必要量と供給量

- A** 必要とするけい酸量
(玄米重の20%) 120kg
- B** 天然供給量
(かんがい水・土壌・堆きゅう肥) ... 58kg
- C** 補給を必要とするけい酸量
(A-B) 62kg

これを「けいカル」に換算した場合200kg(10袋)程度になり、毎年施用することが必要です。

施用量

- 水田10アール当り160kg~200kg(8袋~10袋)
適量を散布しないと肥効があらわれがたいです。

けいカル散布は...

- けいカルは早く施しておいても成分の流乏はありません。早く引取り、秋のうちに散布しましょう。
- 散布は機械を使い共同で能率的にしましょう。
散布時間は農協がおすすめしている散布機(ブロードキャスター・ライムソワー)で10a当り5分~10分でできます。

※詳しい使い方については普及指導機関、またはJAにご相談ください。